

自治体におすすめ！DX人材育成プログラム

2022年 7月 22日

日本電気株式会社 AI・アナリティクス事業統括部 AI人材育成グループ
山崎明子

山崎 明子

シニアDXラーニングコンサルタント

NEC

AI・アナリティクス事業統括部 AI人材育成グループ

略歴

元はマイクロソフトの開発系のトレーナーで、トレーナーアワード、マイクロソフトのMVPなどを多数受賞、技術書籍なども執筆。その後、クラウド系を中心とした各種ベンタートレーニングの立上げやDX関連のトレーニングの企画、立上げに従事。現在、「NECアカデミー for DX」を始めとしたDX人材育成関連のラーニングコンサルタントとして企業、自治体のDX化を全力で支援中。

趣味その他

趣味: 食えること、料理、旅行、ゴルフ、イベント企画

好きな料理: こってりしたもの、辛いもの

旅行: 国内、海外、山歩き、ダイビング

イベント企画: プライベート箱根駅伝、ゴルフコンペ...



アジェンダ

1. NECアカデミー for DX
2. 階層別人材育成プログラム
 - ・ 一般職員向け
 - ・ DX推進者向け
 - ・ 自治体幹部向け
3. 自治体向け人材育成パッケージ

1. NECアカデミー for DX

DX推進に必要な3つの要素

DX推進にはビジネスプロセスと

それを支えるテクノロジー、組織・人材の3つの軸が重要

顧客視点アプローチ

ビジネスプロセス

DXオフアリング

DX推進

デジタルシフトを
支えるDX人材

DX人材教育プログラム

組織・人材

テクノロジー

NEC Digital Platform

DX戦略
アライアンスパートナー

人材育成プログラム DX人材教育サービス

AI、セキュリティ、クラウド、デザイン思考で培った育成ノウハウを集結し
デジタル時代に必要となるDX人材育成をワンストップで提供

NECアカデミー for DX

導入	DX人材育成サービス			
	DX人材育成共創サービス(DX人材定義と育成プランニング)			...
実践力強化	DX実践プログラム			
	AI	セキュリティ	クラウド	Future Creation Design
スキル獲得	NECアカデミー for AI	NECサイバーセキュリティ 訓練場演習	AWS / Azure / GCP アーキテクト育成	NECアカデミー for FCD
	リテラシー研修	テクノロジー研修	マネジメント研修	...

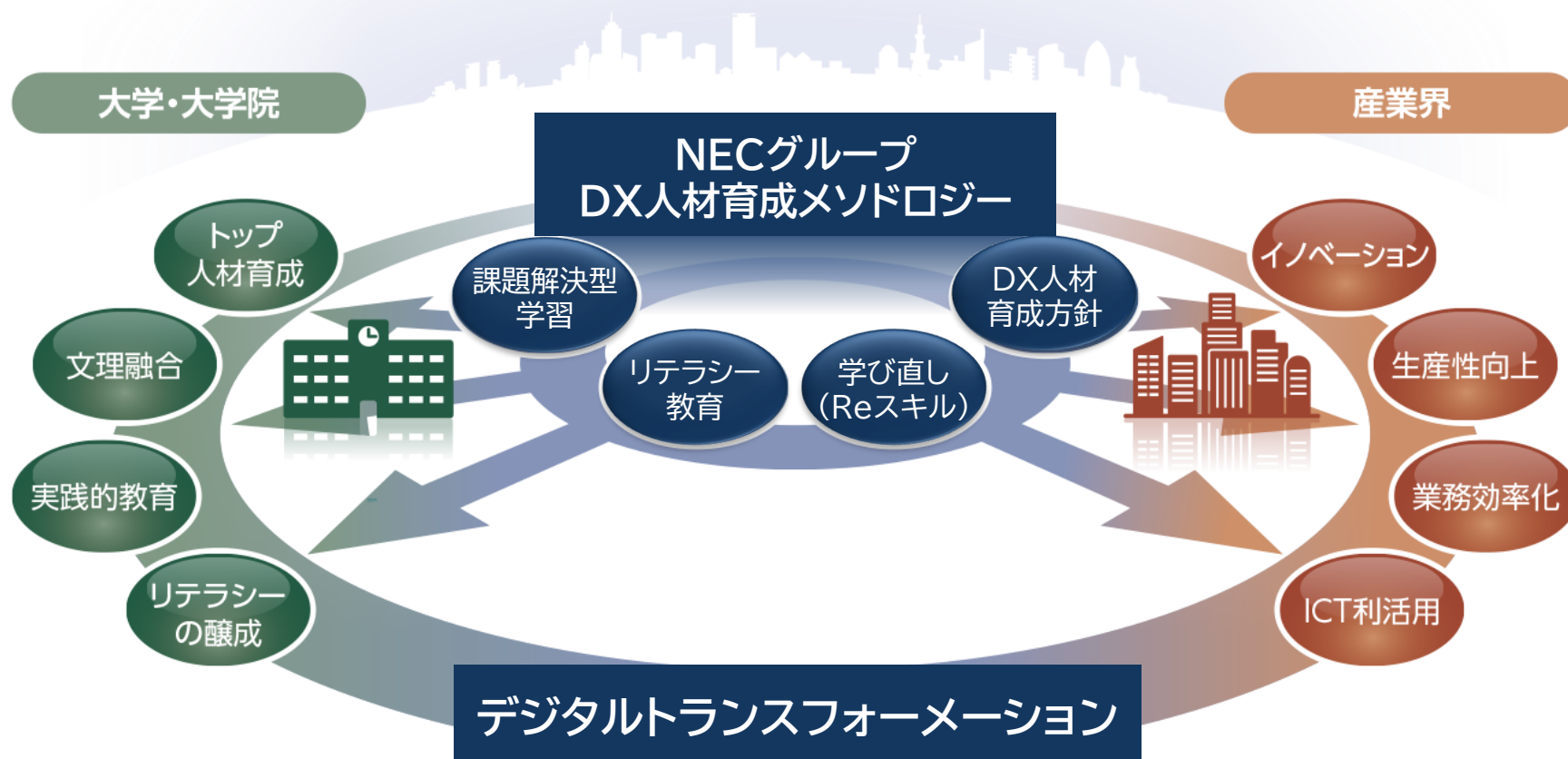
DX構想企画力・オーガナイズ力を習得する
「DX人材育成サービス」

実践力を強化する人材育成フレーム
AI/セキュリティ/クラウド/Future Creation Design/...

DXスキルを獲得する研修プログラム

NECアカデミー for DX の目指す姿

これまでNECで培ってきたDX人材育成メソドロジーを社会に還元することで
日本のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進



NECアカデミー for DX の特長

DX人材戦略の策定からDX文化の浸透までワンストップで提供

実行
施策

DX人材戦略の策定

DX実現に向けた
人材戦略の検討および
DX人材育成プラン策定



DX人材
育成目的



DX人材像
定義



DX人材育成
計画策定

実践的なDX人材育成

DX実現のための
DX専門人材の育成および
すべてのビジネスパーソンへの
DXリテラシー教育



DX専門人材育成
(データサイエンティストなど)



DXリテラシー
教育

継続的なDX文化浸透

DX浸透のための
継続的なDX教育および
DX人材コミュニティ



DX
継続学習



DX人材
認定制度



DX人材
コミュニティ

DX人材戦略

DX人材育成

DX力強化

DX文化浸透

DX人材に必要な知識/スキル

デジタル時代にDX専門人材、DX推進人材、すべてのビジネスパーソンが身につけるべき力

DX専門人材
【DXテクノロジー教育】



データサイエンティスト
サイバーセキュリティ人材など

必要となる知識/スキル



デジタル技術によって
ビジネス課題を解決する力



ビジネスにデジタル技術
を実装する力



デジタル技術の専門知識
(AI/セキュリティ/…)

DX推進人材
【DXビジネス教育】



ビジネス部門



デジタル活用を
推進する力



デジタルを活用した
事業/業務をデザインする力



DXマインドセット
(デザイン思考/AI倫理…)

**すべての
ビジネスパーソン**
【DXリテラシー教育】



全社員



デジタル技術を
使いこなし活用する力



データを適切に
読み解き判断する力



デジタル技術の基礎知識
(AI/IoT/Cloud/…)

マナビDXに登録されているコース

◆ NECアカデミー for AI

■ データサイエンティスト養成 ブートキャンプ

- 20日間で即戦力を育成
- 各種分析手法を繰り返し習得
- 総合演習で一連の分析プロセスを体験

■ 入学コース

- 1年間でデータサイエンティストを育成
- 研修+実プロジェクトへの参加で
AI人材としての独り立ちを目指す

The screenshot displays the ManabiDX website interface. At the top, the navigation bar includes the ManabiDX logo, a home link, and links to explore what ManabiDX can do, digital human resources policy, content upload for business owners, and a ManabiDX Quest section. Below the navigation bar, there are four main category buttons: 'Digital Entry/Basic Lecture', 'Digital Practical Lecture', 'Lecture with support for tuition', and 'Lecture recommended for women (to be used flexibly)'. The main content area is divided into two columns. The left column, titled 'データサイエンス' (Data Science), features a circular diagram illustrating the learning process: 'ブートキャンプ' (Bootcamp) leads to '発表' (Presentation), which leads to '演習' (Exercise), which leads to '発表' (Presentation), which leads to '発表' (Presentation). The right column, also titled 'データサイエンス', shows a timeline of courses: '研修' (1 month to 2 months), '進修' (2 months to 4 months), and '進修' (5 months to 12 months). Below the timeline, there are three main course cards: 'スキル習得' (Skill Acquisition), 'AI案件 疑似体験' (AI Case Simulation Experience), and 'AI案件 実践' (AI Case Practice). Each card lists specific activities and outcomes. At the bottom of each column, there are two boxes for 'データサイエンス' courses. The left box is for 'NECマネジメントパートナー株式会社' (NEC Management Partner Co., Ltd.) and the right box is for '日本電気株式会社' (NEC Corporation). Both boxes include a '有償' (Paid) label and a '詳しく見る' (View Details) button.

マナビDX
MANABI-DELUXE

ホーム マナビDXで何ができるの? デジタル人材育成に向けた政策[□] コンテンツ掲載希望の事業者の方へ マナビDX Quest

デジタル入門/基礎講座 ▶ デジタル実践講座 ▶ 受講料の支援のある講座 ▶ 特に女性におすすめ (多様な働き方に活かせる) ▶

研修 1か月目～2か月目 進修 2か月目～4か月目 進修 5か月目～12か月目

スキル 習得 AI案件 疑似体験 AI案件 実践

ブートキャンプ受講 (20日間の集中学習) ケーススタディ (個人演習/グループワーク) 実践プロジェクト決定 (スキルレベルに応じた決定)

AI専門研修受講 (メンターが最適な研修を選択) テーマ対話演習 (ビジネス/データサイエンス) AIプロジェクト実践 (進修2～3プロジェクト実践)

秒速での自己学習 (レベル別の自己学習動画) 分析コンテスト (NEC Analytics Challenge Cup) ラップアップ (メンターからのフィードバック)

データサイエンス

NECマネジメントパートナー株式会社
有償
データサイエンティスト養成ブートキャンプ
詳しく見る ▶

データサイエンス

日本電気株式会社
有償
NEC アカデミー for AI, 入学コース
詳しく見る ▶

経済産業省 デジタル社会の人材像

経産省ではDX推進人材への施策に注力



【出典】経済産業省 デジタルスキル標準

DX実現に向けて自治体職員に求められる人材要件

特定の部門や職位だけではなく、組織全体としての取り組みが求められる

DX推進における役割定義	職位(例)	DX推進上の人材要件
自治体幹部	首長 CIO 局長・部長 など	行政経営の視点から DXの政策ビジョン構想の方向性を提示し 、組織全体を統括し、デジタル技術に関する知識と見識で高度な判断をおこなう。創造的で挑戦的な 組織風土を醸成し、変革を創り出す 。
DX推進人材	管理職/ 選抜者 (推進部門)	デジタル技術を活用し、 地域・住民起点の社会課題 を捉えた DX政策企画、政策形成 ができる。横断的な視点から DXを牽引、改革推進 することができる。
一般職員	一般職員	デジタルを当たり前使える文化として 自分ごと化 でき、テクノロジーを活用して、日々の業務から 課題や改善点を意識 できる。



2. 階層別人材育成プログラム

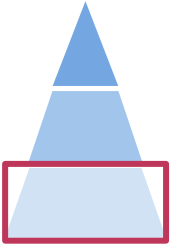


DX

人材育成

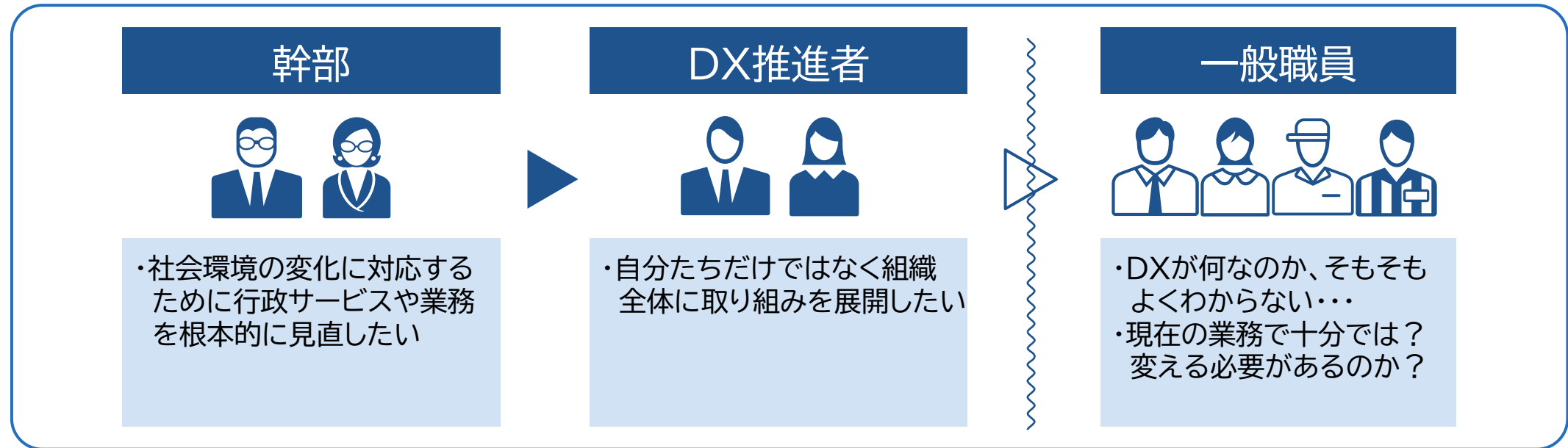
一般職員向けプログラム

DXマインド・スタンス研修
～すべてのビジネスパーソンのためのDXの心得～



DXは組織的取り組みが不可欠だが・・・

DX化を組織全体で取り組むまでには、全体に浸透していない



ゴールイメージ

- **自分ごと化** DX時代に求められるマインド・スタンスの要素と、なぜそれが必要かを自分の言葉で説明できる
- **ポジティブ化** DXマインド・スタンスの各要素について、今後、自分がどのように実践していくかのイメージが持てている

DXマインド・スタンスの位置づけ

全ての社会人向けのデジタルスキル標準「DXリテラシー標準」策定

これまでのDX導入研修の傾向

●幹部層・IT従事者を対象に展開されることが多い

⇒一般職員の反応



- ・横文字が多くて難しい
- ・事例を見ても自分の業務と結び付けられない
- ・結局何をすればよいのか分からない

▶マインド変革につながらず、最初の一步を踏み出せない

- ・具体的な行動例を示すことで、自分の行動に置き換える
- ・職場活動として継続して考える機会を持つことで、組織風土として定着を目指す

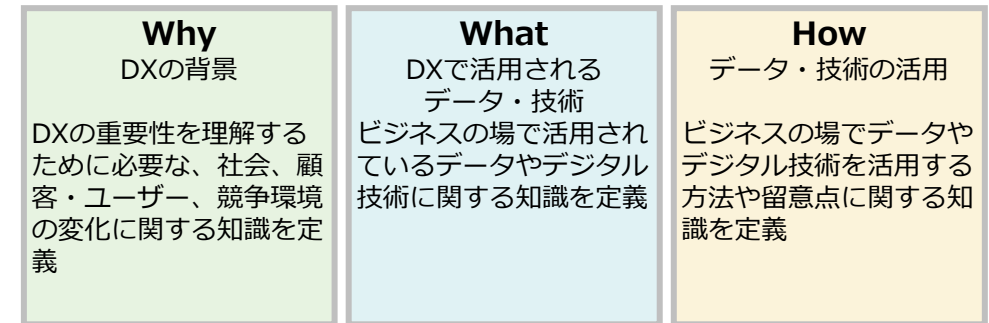
DXリテラシー標準の全体像



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

標準策定のねらい

働き手一人ひとりが「DXリテラシー」を身につけることで、
DXを自分事ととらえ、変革に向けて行動できるようになる



着目

マインド・スタンス

社会変化の中で新たな価値を生み出すために必要な意識・姿勢・行動を定義

⇒個人が自身の行動を振り返るための指針かつ、組織・企業がDX推進や持続的成長を実現するために、構成員に求める意識・姿勢・行動を検討する指針とする

出展：DXリテラシー標準（経済産業省）

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/skill_standard/DX_Literacy_standard_ver1.pdf

使用教材例

アウトプット中心の演習をとおして、DXとは何か、DX時代に求められるマインド・スタンスとその必要性を、自分の言葉で説明できるようになります。

1-1. そもそもDX (デジタルトランスフォーメーション) とは

デジタルは手段。本質は人々の生活を一変させること

デジタルトランスフォーメーション (DX) の定義

音楽業界で考えると・・・

DXの提唱者: エリック・ストルターマン

考えてみよう: DX時代、あなたの働き方はどう変わる?

考えてみましょう!

便利なデジタル技術が我々の生活や業務の在り方を大きく変えつつあり、コロナ禍がこの変化を後押ししていることは、少なからず実感されていると思います。

ドローンでの無人配達

リモートワーク/オンライン会議

5年後、あなたの働き方はどのように変わっていると思いますか?

ディスカッションの進め方 (15分)

1	5年後の自分の働き方の変化について考えをまとめる (個人ワーク)	3分
2	チャット (全体向け) に自分の意見を投稿する (全体への共有)	2分
3	講師と一緒に投稿内容の確認・ディスカッション	10分

© NEC Corporation 2022

2-1-3. 「顧客・ユーザーへの共感」の具体的な行動例

顧客・ユーザーに同化できれば、感情を理解しやすくなる
本音は行動に現れることも多いので、FACT (データ) を集めることも有効

自らがユーザーになる

SNSやユーザーコミュニティで生の声をひろう

データに聞く

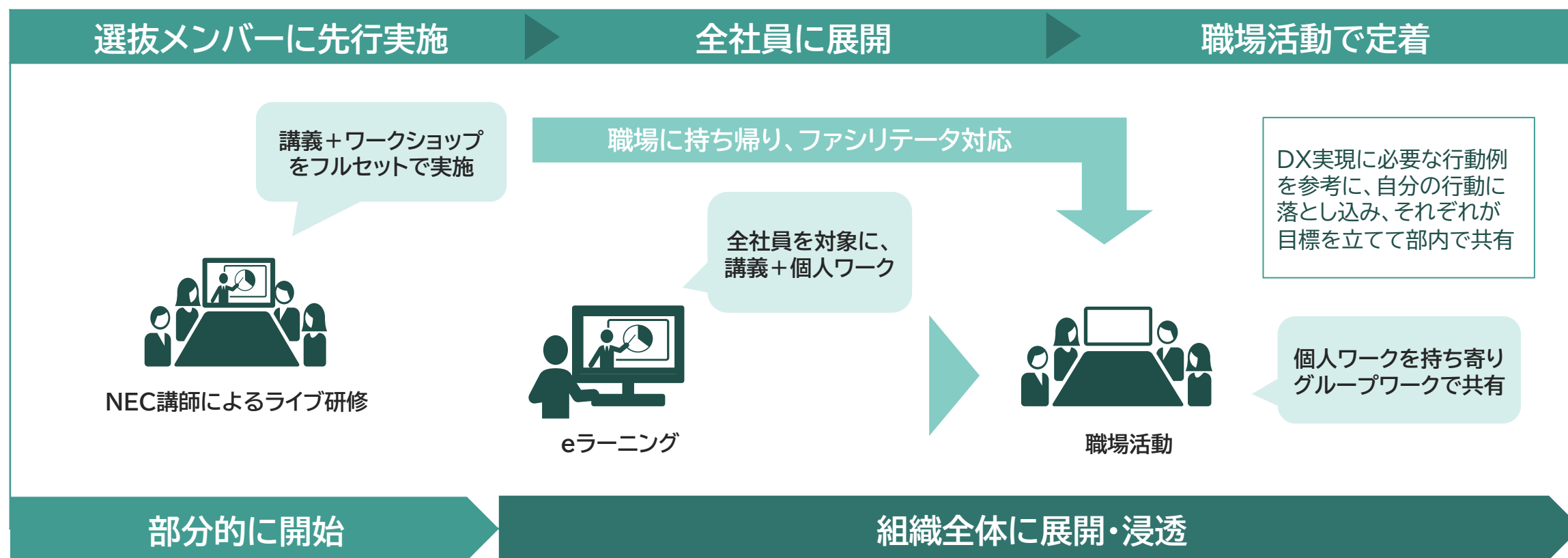
【演習1-1】マインド・スタンスへの理解と行動例を共有する (1/2)

顧客・ユーザーへの共感		常識にとらわれない発想	
	①自分	②他者の意見	
理解・解釈	(自分の言葉で表現すると?)	(グループディスカッションで気になった意見をメモ)	(自分の言葉で表現すると?)
	(「自分はどうしている」があれば具体的に)	(グループディスカッションで気になった意見をメモ)	(「自分はどうしている」があれば具体的に)
行動の例			

© NEC Corporation 2022

DXマインド・スタンス 組織展開推奨パターン

eラーニングによる個人ワークに加えて、職場活動としてグループワークを継続することで、DXに対する意識改革・行動変容を組織風土として浸透



eラーニングは2022年9月リリース予定です。

【参考】DXリテラシー標準対応研修

以下3コースでDXリテラシー標準全体をカバー

本資料のパッケージ対象コース

DX推進を自分事として捉える

①DXマインド・スタンス
(0.5日間)

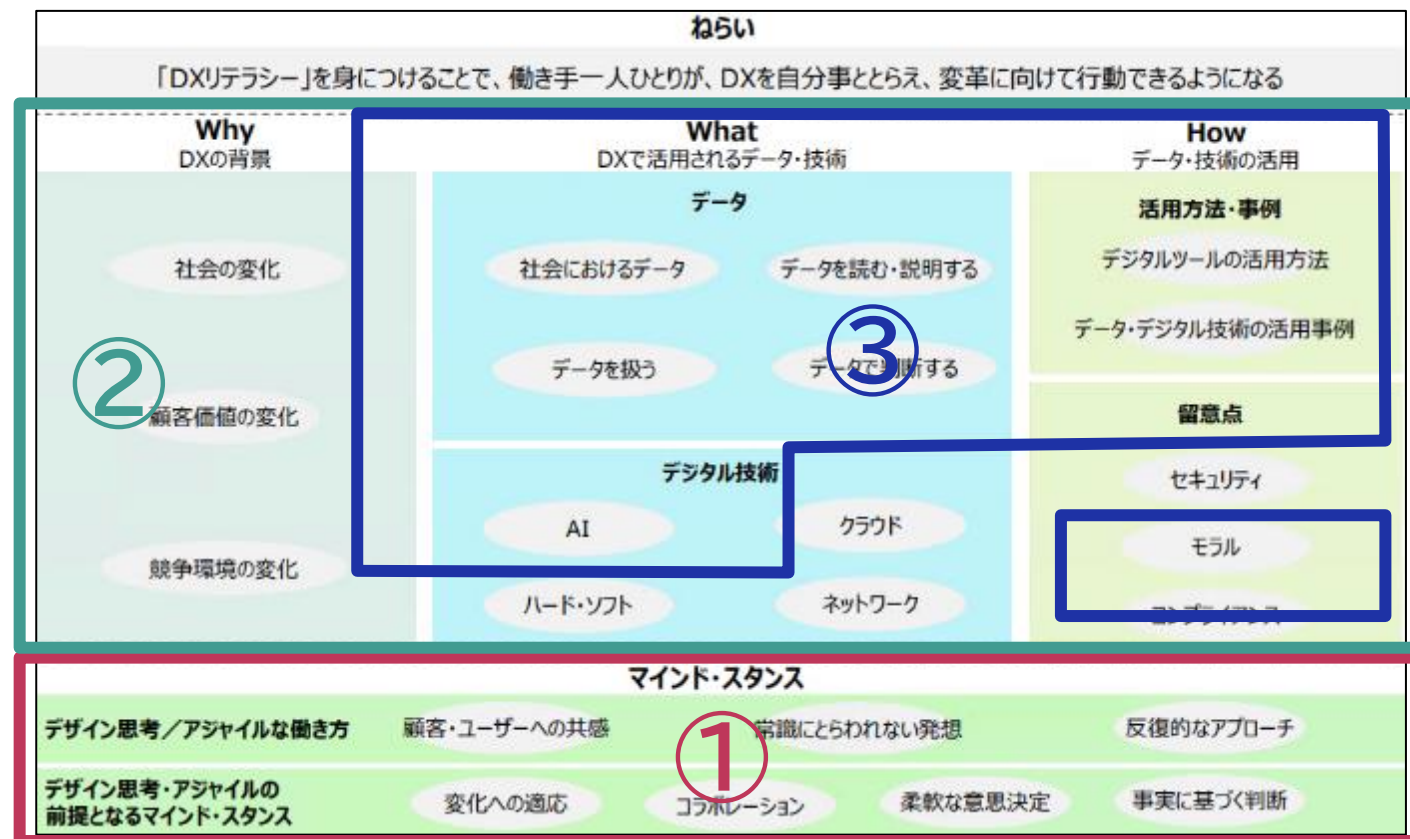
DX全般を理解する

②DXリテラシー概説
(1日間)

DXの実現に活用される技術を知る

③AIリテラシー教育
(1.5～2日間)

DXリテラシー標準 項目一覧



新たなDXリテラシー標準の検討について 第4回検討会資料 より
[004 02 00.pdf \(meti.go.jp\)](#)

DXマインド・スタンス研修カリキュラム

DXマインド・スタンス研修 ～すべてのビジネスパーソンのためのDXの心得～

概要

すべてのビジネスパーソンに求められるDX時代のマインド・スタンスについて理解します。また、日常の業務においてどのように考え、取り組むべきかについても、グループワーク*を通して具体的なイメージを持っていただきます。

*遠隔ライブのみ

学習時間

遠隔ライブ
3.5時間

eラーニング
2時間

到達目標

- ・ DX時代に求められるマインド・スタンスの要素と、なぜそれが必要かを自分の言葉で説明できる
- ・ DXマインド・スタンスの各要素について、今後、自分がどのように実践していくかのイメージが持てる

カリキュラム

アイスブレイク ～DX時代、働き方はどう変わる？

1. DX時代のマインド・スタンスとは

- ・ そもそもDXとは
- ・ DXとIT化の違い
- ・ DXで一変する私たちの暮らしと働き方
- ・ DXで求められる働き方と意識の変化
- ・ DXリテラシーにおけるマインド・スタンス

2. DXのマインド・スタンスを知る（事例と行動例）

- ・ 顧客・ユーザーへの共感
- ・ 常識にとらわれない発想
- ・ 反復的なアプローチ
- ・ 変化への適応
- ・ コラボレーション
- ・ 柔軟な意思決定
- ・ 事実に基づく判断

3. DXマインド・スタンスを自分事化する

- ・ DXのマインド・スタンスを業務に紐づける
- ・ 個人/組織のマインドスタンスに落とし込む

DXリテラシー概説

概要

DXとはなにか。その背景や必要性、DXを進めていくための考え方、DXを実現するための基本的な流れや必要となる代表的なICT技術についてわかりやすく紹介します。DX事例の紹介や体験演習*も行い、理解を深めます。

*遠隔ライブのみ

学習時間

遠隔ライブ
3.5時間

eラーニング
2時間

到達目標

- ・ DXにおける二つの視点について説明できる
- ・ DXのフェーズについて説明できる
- ・ DXのシステムを実現するための基本的な流れを説明できる
- ・ DXを実現するための技術には何があるかを説明できる

カリキュラム

1. DXについて

- ・ DXの定義
- ・ DXが注目される理由
- ・ DXにて得られるもの

2. DXの実現フェーズ

- ・ DXのフェーズ

3. DXシステムの実現方法

- ・ DXの基本的な進め方
- ・ DXプロジェクトの流れ

4. DXを支えるテクノロジー

- ・ DXにて注目されるテクノロジー
- ・ 各テクノロジーの概要(クラウド、ビッグデータ、ネットワーク、サイバーセキュリティ)
- ・ 各テクノロジーの概要(生体認証、IoT、AI、VR/AR)

5. DX事例

- ・ 事例紹介

6. DX体験演習

- ・ 演習：DX体験
- ・ 演習：DXアイデア検討

詳細ページ

eラーニング

遠隔ライブ

<https://www.neclearning.jp/courseoutline/courseId/DX01E/>

<https://www.neclearning.jp/courseoutline/courseId/DX026/>

AIリテラシー教育

概要

本コースでは、社会におけるデータ・AI活用領域の広がりを知ると共に、データを適切に扱い読み解くための知識や、データ・AIを利活用する上で知っておくべき事項について学びます。

学習時間

遠隔ライブ
2日

eトレーニング
14時間

到達目標

- ・今、社会で起きている変化について説明できる
- ・データ・AI利活用のための技術や事例、最新動向を説明できる
- ・データを正しく読み解き、説明することができる
- ・目的に応じてデータを適切に扱うことができる
- ・データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる

目次

1.社会におけるデータ・AI利活用

- ・社会で起きている変化
- ・社会で活用されているデータ
- ・データ・AIの活用領域
- ・データ・AI利活用のための技術
- ・データ・AI利活用の現場
- ・データ・AI利活用の最新動向

2.データリテラシー

- ・データを読む
- ・データを説明する
- ・データを扱う

3.データ・AI利活用における留意事項

- ・データ・AIを扱う上での留意事項
- ・データを守る上での留意事項

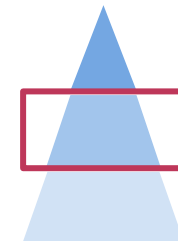
数理・データサイエンス教育強化コンソーシアム
数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム準拠

導入	1. 社会におけるデータ・AI利活用	
	1-1. 社会で起きている変化 1-3. データ・AIの活用領域 1-5. データ・AI利活用の現場	1-2. 社会で活用されているデータ 1-4. データ・AI利活用のための技術 1-6. データ・AI利活用の最新動向
基礎	2. データリテラシー	
	2-1. データを読む 2-3. データを扱う	2-2. データを説明する
心得	3. データ・AI利活用における留意事項	
	3-1. データ・AIを扱う上での留意事項	3-2. データを守る上での留意事項
選択	4. オプション	
	4-1. 統計および数値基礎 4-3. データ構造とプログラミング基礎 4-5. データストリクチャ 4-7. データハンドリング 4-9. データ活用実践（実践的学習）	4-2. アルゴリズム基礎 4-4. 時系列データ解析 4-6. 画像解析 4-8. データ活用実践（実践的学習）

※本資料は「数理・データサイエンス教育強化コンソーシアム」が公表した数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム

詳細ページ eラーニング
遠隔ライブ

<https://www.neclearning.jp/courseoutline/courseId/AI044/>
<https://www.neclearning.jp/courseoutline/courseId/AI047/>



DX

人材育成

DX推進人材向けプログラム

※課題解決コース

自治体DX推進のための DX・データ活用企画研修

自治体DX推進のための DX・データ活用企画研修カリキュラム

自治体DX推進のための DX・データ活用企画研修

概要

データ活用は、初期の課題設定・ゴール設定の難しさがあります。本研修では、データ活用の企画フェーズにおいて、解くべき課題を掴むための準備と対策、課題設定・ゴール設定、データ活用シナリオ作成、データ活用価値について、各種フレームワークを利用しながら学びます。

学習時間

オンライン
半日×3回
(集合研修
要相談)

到達目標

- データ活用プロジェクトの企画の進め方について説明できる。
- データを活用したソリューションの企画・提案ができる。

カリキュラム

1. DX・データ活用概論

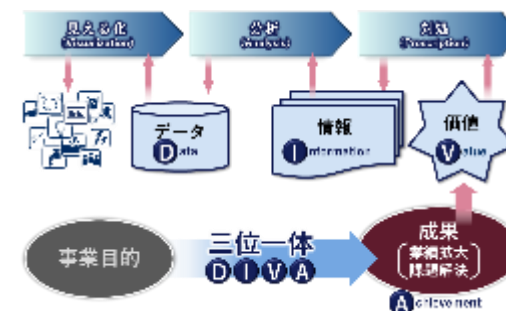
- DX・データ活用するとは
- DX・データ活用のプロジェクト全体像
- DX・データ活用の企画ポイント

2. DX・データ活用企画ワークショップ

- 課題解決方針とゴール設定
- データ活用シナリオ
- データ活用効果の推定

3. DX・データ活用企画の発表と評価

- 発表準備
- 発表会 & 質疑応答
- 発表に対する講評
- 継続的にデータ活用するためのポイント



自治体DX推進のための DX・データ活用企画研修 の進め方

自治体における実際の課題/ニーズを題材※にDX・データ活用を検討し、企画立案の知識習得だけでなく、実践(ワークショップ・宿題)を通して、データ活用を企画する人材を育成

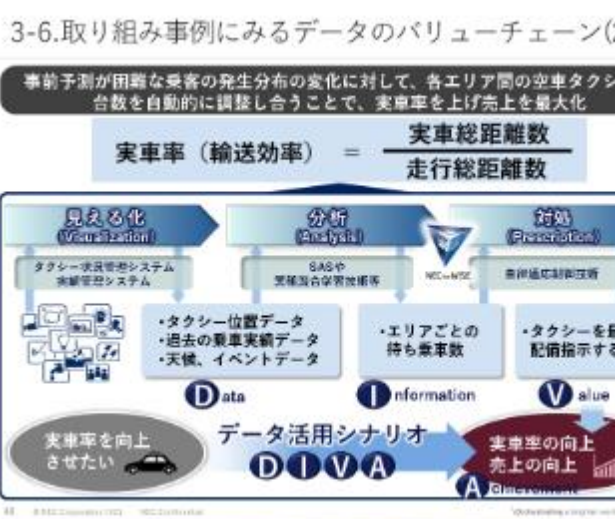
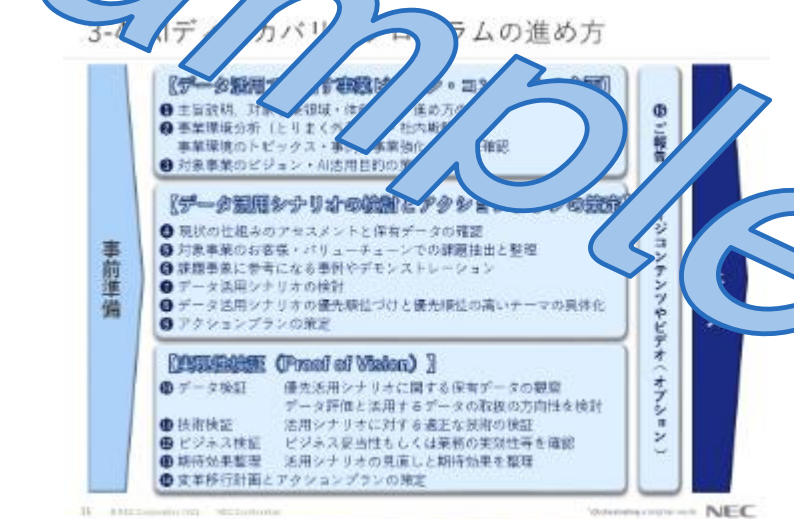
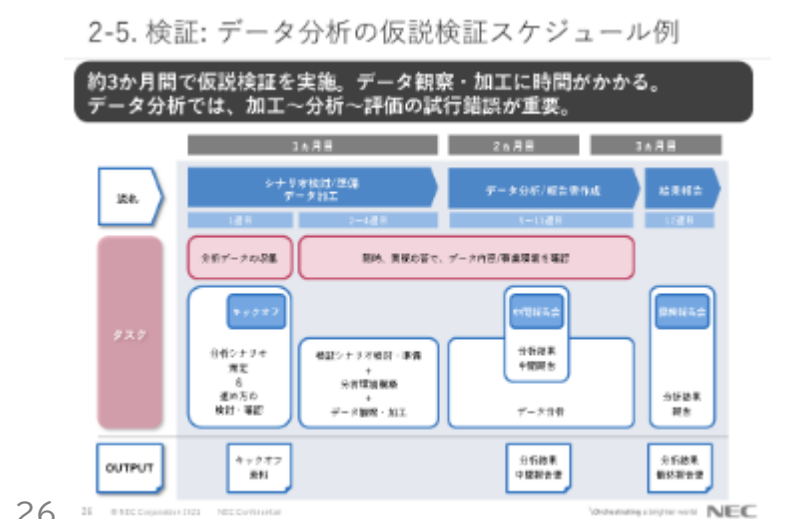
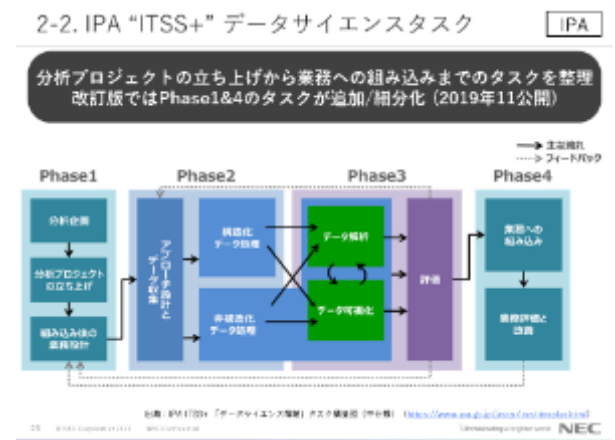
	1週目	2週目	3週目	4週目	
目的	既存PJとデータ活用PJの違いを理解	効率的なWSのための準備	自治体の課題からデータ活用の企画を検討	発表準備	継続的な活動に対するモチベーション向上
項目	DX・データ活用概論	宿題1	DX・データ活用企画ワークショップ	宿題2	DX・データ活用企画の発表と評価
内容	(座学:半日) ・DX・データ活用の概要 ・DX・データ活用のプロジェクト全体像 ・DX・データ活用の企画ポイント	(個人) 検討テーマにおける課題を考える。	(グループWS:半日) 自治体の実際のテーマ*を基に、具体的なデータ活用の企画を立てる。	(グループ) ワークショップで検討できなかった部分、検討不足の部分を検討し、発表準備をする。	(発表会&座学) 発表に向けた準備: 発表会:各チーム15分 審査:(実施可否はご相談) 座学:継続的にデータ活用をするためのポイント
講師	事例を交えて、DX・データ活用の標準的な進め方を説明		各グループに入り、検討をフォロー	他に聞きたいこと、質疑応答などにメール等で対応	発表に対する講評や、データ活用を継続するためのポイント説明

*推進者応援プラン:スマートシティのテーマ

*まるっと3階層プラン:上位層WSで検討したテーマ

参考) 1週目:【座学】DX・データ活用概論

目的: DX・データ活用の流れを理解し、企画する際のポイントを理解する。



参考) 2週目: DX・データ活用企画ワークショップ

フレームワークを理解し、テーマに沿ったDX・データ活用の企画を立てる。
想定フレームワーク:「現状(As-Is)と今後(To-Be)」、「データ活用シナリオ(DIVA)」、「効果の想定」

【現状】定期健診では、高リスク者の行動変容ができていない。

- (社員)健診結果を見ても、改善行動を起こせない。
 - ー(社員)将来に対する漠然とした不安
 - ー(社員)どのような改善行動を起こせば良いかわからない。
- (企業)医療費を抑制したい。
 - ー(企業)医療費が年々増えている。
 - ー(企業)高リスク者の行動変容まで実施できていない。

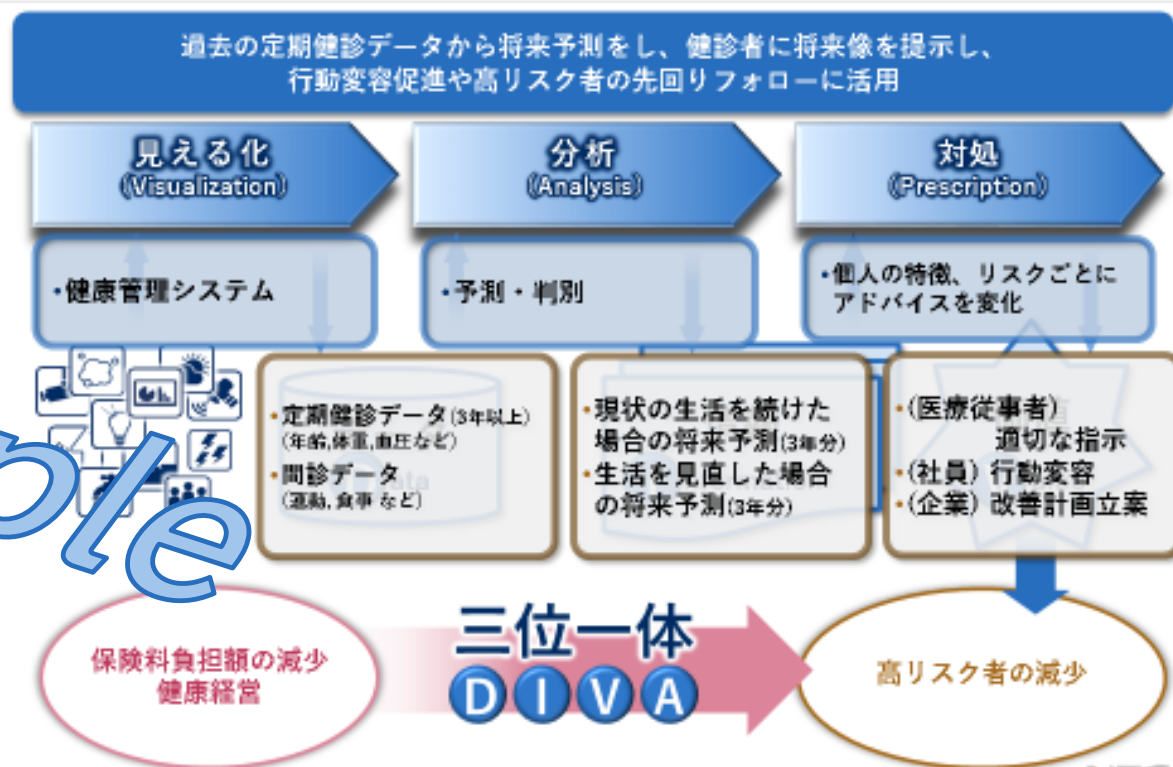
社員 定期健診 健診結果 見るだけ

【今後】将来像の提示による行動変容促進や高リスク者や組織健康課題の先回りフォロー

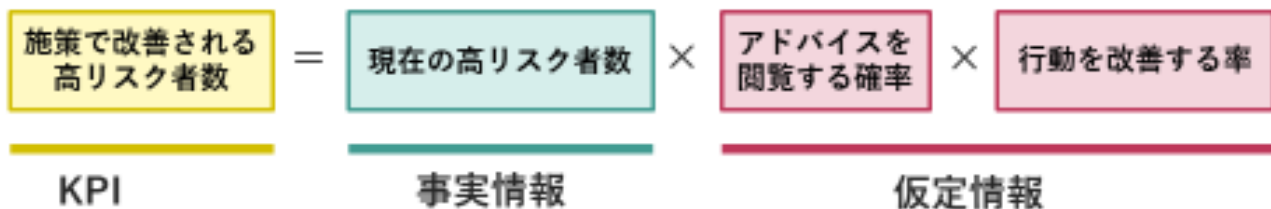
- 蓄積された定期健診データから導き出した健診結果予測モデルを用いて、現状の生活をつづけた場合の将来予測と、生活を見直した場合の将来予測を提供

社員 定期健診 健診結果 AI 行動変容 気づき 将来予測

データ活用シナリオ (DIVA)



例) NEC健診結果予測シミュレーションによる効果



100 © NEC Corporation 2022 NEC Confidential

Orchestrating a brighter world NEC

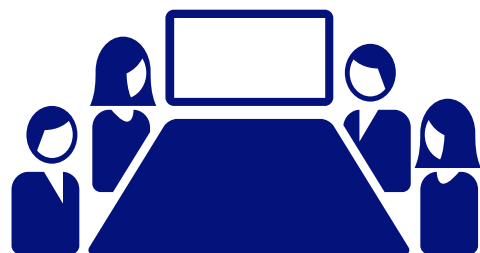
参考) 3週目: DX・データ活用企画の発表と評価

目的： 検討した企画を発表し、他者の意見を聞き、企画のブラッシュアップ
また、今後、継続的にデータ活用活動のためのモチベーションを向上

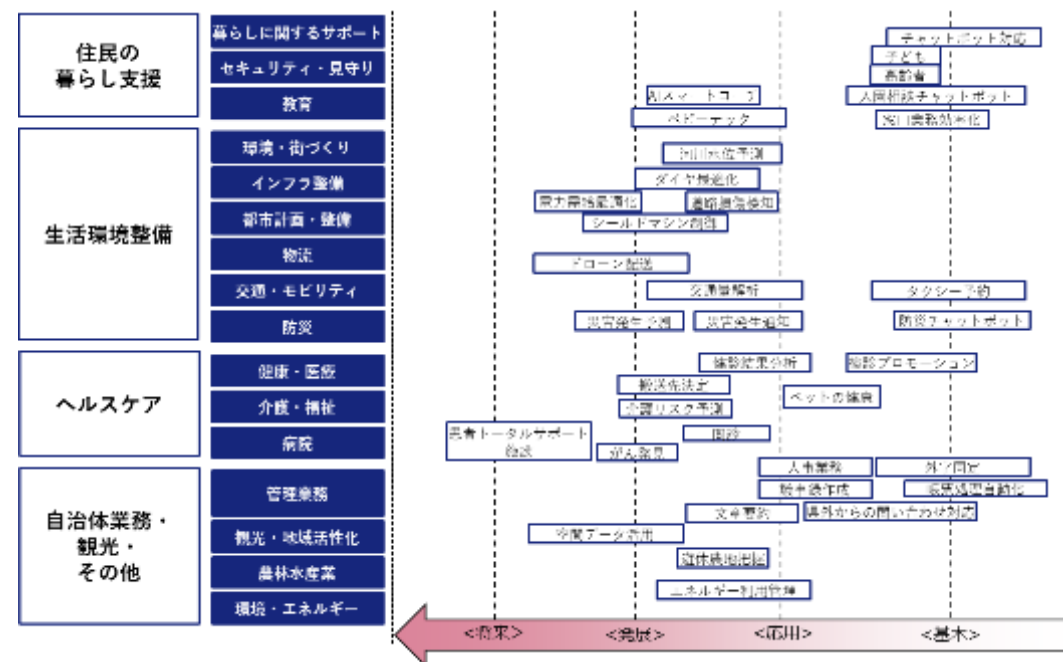
各グループからの発表

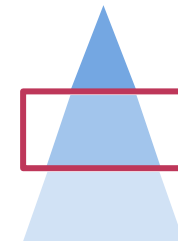


講評とアドバイス (審査)



企画内容の位置づけ (データ活用マップ)





DX

人材育成

DX推進人材向けプログラム

※政策企画コース

自治体DX推進リーダー研修

自治体DX推進リーダー研修カリキュラム

対象：管理職、リーダークラス、政策企画に携わる方々

自治体DX推進リーダー研修

概要

自治体DXを推進するリーダー育成を目的に、DX マインドを養い、デザイン思考によるアイデアの企画発想力を高め、DX 推進のプロセスを体得する演習やワークショップなどの様々な学習プロセスを通してDX施策立案、推進スキルを身につけます。

学習時間

集合研修
2日
(オンライン
対応可能)

到達目標

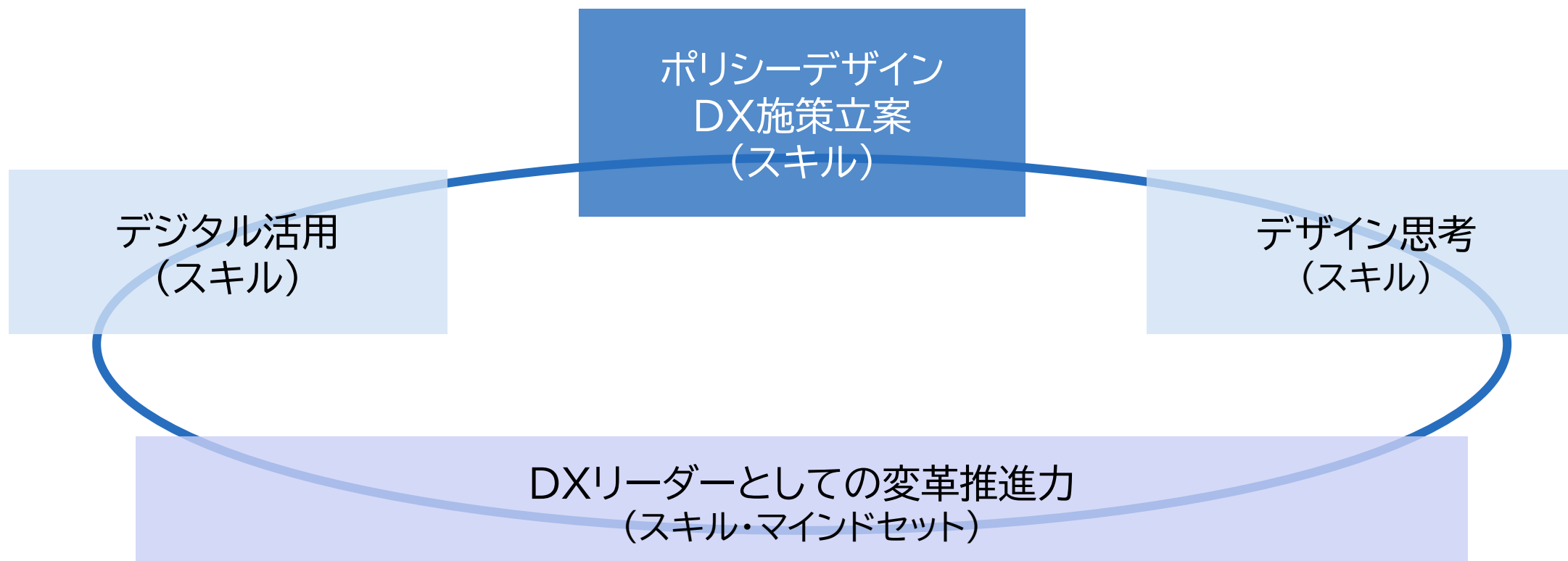
- 自治体のデジタル・トランスフォーメーション (DX) に求められる行動様式・マインドセットを理解する
- 「デザイン思考」「デジタルテクノロジー」を活用したDXに向けた課題解決の流れを体感し、理解する

カリキュラム

- 自治体DX推進とは
 - ・ 庁内業務のデジタル化推進
 - ・ 地方自治体の事例
 - ・ 業務標準化と業務改善
 - ・ 制度・業務プロセス・ITシステム・組織・人材・データの変革
- ポリシーデザインシンキング (デザイン思考)
 - ・ デザインシンキング
 - ・ アイデアの発散・収束
 - ・ 利用者視点と事業視点
 - ・ カスタマージャーニー
 - ・ サービス・業務モデルづくり
- 先端デジタルテクノロジーの理解
 - ・ AI、機械学習、ディープラーニング
 - ・ IoT技術
 - ・ 未来の技術 (NEC未来創造会議)
- 自治体DXに関するDX施策検証・実証実験
 - ・ デジタルを活用した地域の産業振興
 - ・ 自治体窓口におけるデジタル化
 - ・ スマートシティの実現につなげるデータ活用
 - ・ 加古川市のケース (地域共創型PF、市民参加型共創ワークショップ)
- DXプロジェクトの進め方
 - ・ 課題発見、課題解決アプローチ
 - ・ PoC、アジャイルに進める

本研修にて習得されるスキル

研修を通じて、「デジタル活用・データ活用」スキル、「ポリシーデザイン・DX施策立案」スキル、「デザイン思考」スキル、「DXリーダーとしての変革推進力」スキル・マインドセットを習得していただきます。



自治体DX、先端デジタル技術、デジタル活用・データ活用の方法、デジタル・トランスフォーメーション推進に関する教育コンテンツをご提供します

自治体の変革

10年後の未来予測

行政DX

産業DX

1. 行政DX支援サービスの背景～(1)なぜ、行政DXが必要なのか？～

地域内のデータをフル活用する都市：スーパーシティ

日本ではDXによる都市の課題解決をスーパーシティと位置づけ、官民挙げてファレンスモデルを構築中。構築したモデルの国内外への展開を狙っている。

イメージ

イメージ	概要(内閣府の定義)
目的	データ駆動型による「未来の生活」の先行的実現 - 様々なデータを分析統合し施策・施策・材料とする(データ連携基盤)を軸に、自治体と民間に多様なサービスを開発し、住民生活・社会向上に資する - 住民が暮らし、住民生活で2050年までに実現される社会を企画
適応の要件	一先決で、以下領域の内少なくとも5つを満たすこと ・ 都市、自治体、民間連携 ・ 都市、民間連携、MaaS(Mobility as a Service) ・ 交通、インフラ、デジタル、システム、セキュリティ、など ・ 民間が参画し、住民生活で2050年までに実現される社会を企画

産業DX

食品DXの取り組み(生産性向上、食品ロス削減)

デジタル技術を用いてビジネスモデルを変革するDXによる食品流通の変革に取り組んで日本の産業の生産性を飛躍的に高めようとする取り組みであり、産業レベルでの変革を推進することを計画しています。

DXで食品流通を変革する

食品流通をより効率的な方法で進めようとする

データの活用(例) IT(情報)活用

出典：国土交通省・農水省、2020年6月 No.50

デジタルが生活の中の“当たり前”になる

リアルが
常態

デジタルが
常態

社会

人

提供価値イメージ

異なる形式で格納されたデータを個人の同意を前提として利活用可能な形式で流通させ、
新たな価値を個人・企業・官公庁に還元する

リアルタイムな保険割引

リアルタイムのバザードマップ

高度な見守り

客観的な政策/マーケティング

DX実現に向けた6つのポイント リアルタイム処理

イベント処理

リアルタイムに収集されるデータから、行動を起こすためのイベントを抽出。
都度発生するイベントに対して、ルールに従った自動連携を行います。

データからイベント抽出と処理（イベント処理ルール）

連携イメージ

- マッピング**
個々のイベントに合わせた、複数シナリオのサイネージ連携
- 配信**
人流変動や観客情報から、配信条件を設定
- 配信**
観客・関係の人数から、関連性の高いデータを抽出する原因分析に紐ず
- 連携**
連携データから、関連性の高いデータを抽出する原因分析に紐ず

16

© NRC Corporation 2021

Virtualizing your world

NEC

ARによる観光案内 SSMR

映像ARとエリア別のコンテンツマネジメントと立体音響によるARによる観光案内。NECのARプラットフォーム、場所提供者、コンテンツ提供者によるレベニューシェア。

◆ ARによる観光案内



東京都 産官学連携ウェルネス事業実証 データとサービスをにつなぐ

プロジェクトとエリア別観光とウェルネスサービスの連携

プロジェクトとエリア別観光とウェルネスサービスの連携

プロジェクトとエリア別観光とウェルネスサービスの連携

産官学の連携による共創



共創





事例 データとサービスをにつなぐ

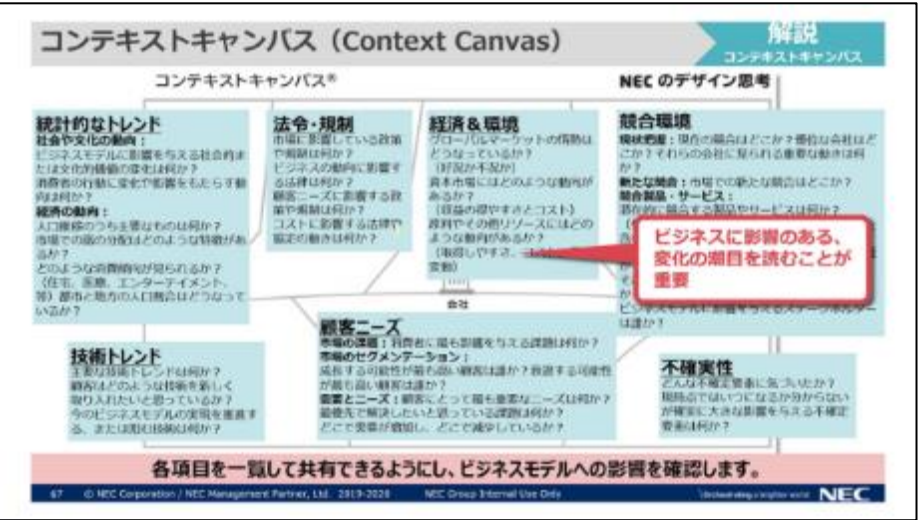
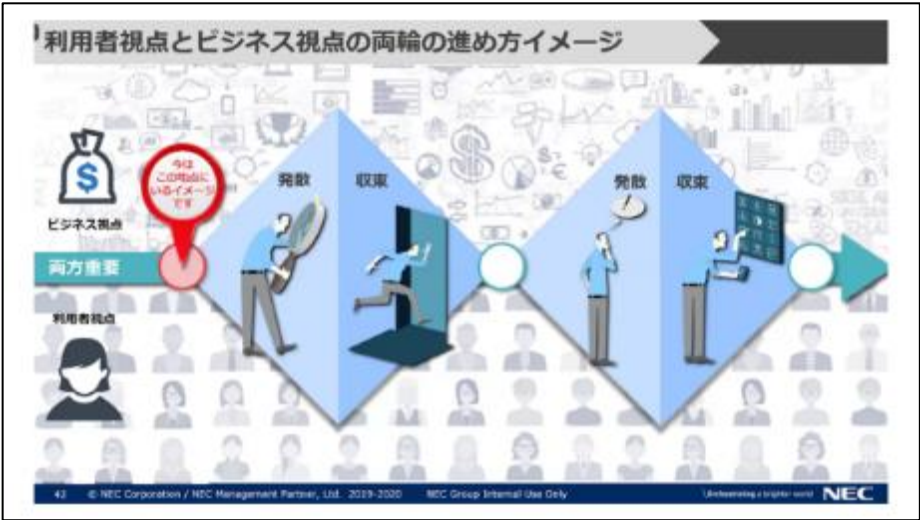
「都市のDX」を通じて、より便利で、豊かな都市生活・顧客体験を提供

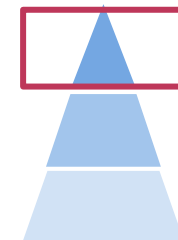
解決すべき課題 各の利便性にあるデータや、街の中の様々な施設で得られるデータを統合・分析し、新たな価値を創出したい

効果 デジタルプラットフォームの活用で、IDを軸に集積したデータを活用 個人の属性に合わせたサービスの最適化を実現

研修テキスト② サンプル

「NECのデザイン思考」フレームワークに含まれるプロセスやツールを活用し、課題発見から解決施策の検討・事業化まで、具体的かつスピーディに検討を進めるための方法を学びます





DX

人材育成

自治体幹部向けプログラム

DX推進のための 自治体幹部向けワークショップ

DX推進の阻害要因と課題

【DX推進の阻害要因(例)】

幹部層

幹部層の中でもDXへの認識や意識のばらつきがあり、DXについての合意形成まで至っていない

・デジタル推進部門 ・企画部門 ・人事部門

上層部からは曖昧な意向や方針しか伝わってこない

組織の推進体制が整備されておらず、現場(部門、管理者など)を巻き込んで推進するリソースやパワーも不足している

自治体内でDX人材育成の知識や経験をもったメンバーが見当たらず、どのように推進すべきか悩んでしまう

DX推進する中で、どのような人材が必要かが明確でなく、DX人材育成をどのようにおこなうべきか悩んでしまう

現場部門

(管理者)全体像が見えてこないで、どのように推進したらよいかわからない。また、知見がなくイメージがわからないためマネジメントすることに不安を感じる

(一般職員)現在の仕事をこなすことで精一杯な中、さらに忙しくなりそうで怖い。頑張っても、その後の働きに対してきちんと評価されたり、活躍する機会があるのか疑問。

【課題・背景】

- ✓行政サービスのデジタル化、システムの標準化対応を推進しなければという思いはあるが、DXについてはまだよくわからず、どうしたらよいか見えない
- ✓そもそもDXとは何かがわからない、ノウハウもない
- ✓自治体内で方向性が統一されていない
- ✓内部でDX推進の必然性が理解されず、浸透しきれていない

【狙い】

幹部の皆様に対して

- ・DXの**内容、必然性**をご理解頂き、
- ・幹部同士でDX推進への**認識を合わせ**、
- ・全体的なDX推進の**機運を高める**

自治体幹部対象：「DX推進のための自治体幹部向けDXワークショップ」

*研修内容は、事前ヒアリングの上、事務局との打ち合わせにより内容作成します。

◆ ワークショップ実施の目的：

幹部層に対してデジタル・トランスフォーメーション（デジタル変革／DX）の必要性についてご理解頂き、スポンサーとして幹部同士でDX推進への認識を合わせ、方向性を言語化する

◆ 実施方法：

①事前ヒアリング・・・現状把握、変革の課題、想いを確認の上、ワークショップの実施目的や狙いを確認
（幹部クラス5名程度 *ご人選より）

②幹部ワークショップ（1回開催 16名～20名を想定）
・・・4時間想定（ex.13:00～17:00）

◆ 想定参加者： 首長、幹部（局長級）、管理職（部課長級）の皆様

◆ 講師/ファシリテーター：NEC DX戦略コンサルタント

自治体幹部対象 DXワークショップ タイムスケジュール(例)

13:00～	■オリエンテーション ■講義・情報提供： 「自治体のデジタルトランスフォーメーション(DX)について」 ・トランスフォーメーション(変革) ・デジタル先進技術 ・先端の未来技術 ・DX事例(自治体、先端企業)
14:00～	■ディスカッション案： 「自治体ビジョン実現に向けたDX推進において 事業モデル、テクノロジー視点による 変革課題について」
15:00～	■講義・情報提供： 「DX推進に向けた人・カルチャーの変革」
15:45～	■ディスカッション案： 「DX推進に向けて、組織カルチャーをどう変革するか？どのような人材が必要か？について」
16:30～	■講義・情報提供： 「DXチェンジリーダーの必要性」と「DX成功ポイント」

事前
ヒアリング
(幹部クラス)

幹部向け
ワークショップ
(4時間程度)

DX課題整理

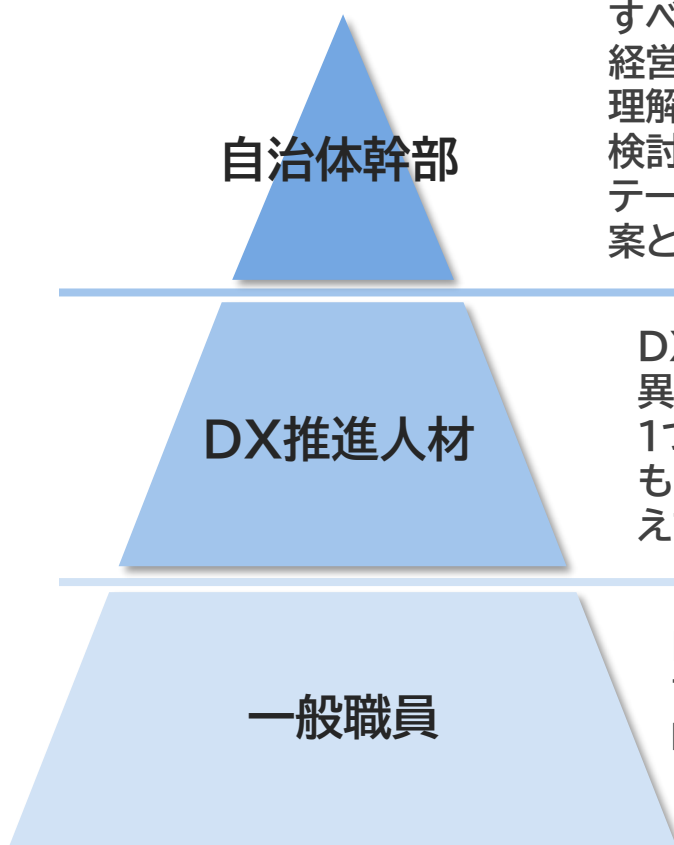
DX施策の方向性

3. 自治体向け人材育成パッケージ

自治体様向け DX人材育成パック

階層別の推奨研修を組み合わせたパッケージプランをご用意

- 育成計画にあわせて、3つのプランからお選びいただけます。



すべての階層向け推奨研修がセットになったプランです。経営幹部向けワークショップでは、DXの最新動向や事例を理解し、自組織に必要な人材像、およびDX促進の方向性を検討します。ここで検討した方向性に基づき、具体的な施策テーマに落とし込み、DX推進人材向けの課題解決企画立案と連携することができます。

DX推進人材として、組織のDX化を牽引するために異なる視点のコースを選択できます。1つは、課題解決のためのデータ利活用の企画立案、もう1つは組織を牽引するリーダーとして必要な考え方を学ぶコースです。

DXとは何か、普段の業務とどう関係するのか等、すべてのビジネスパーソンが知っておくべき基本的な考え方を学びます。DXへの取り組みの第一歩としておすすめのプランです。

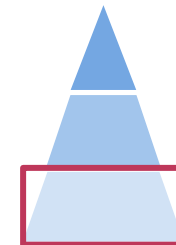
まるっと3階層プラン

推進者応援プラン

まずはここからプラン

まずはここからプラン

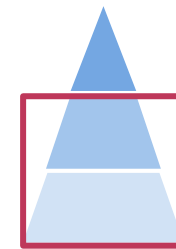
ご提供価格:100万円(税抜き)



対象	研修名	概要	実施形態	学習時間	対象人数
一般職員	DX推進のための マインド・スタンス	すべてのビジネスパーソンに求められるDX時代の マインド・スタンスについて理解します。また、日常 の業務においてどのように考え、取り組むべきか についても、グループワーク*を通して具体的なイ メージを持っていただきます。 *遠隔ライブのみ	遠隔ライブ	半日間	40名 (20名×2回)
			または eラーニング	2時間	200名

推進者応援プラン

ご提供価格:300万円(税抜き)/コース



■課題解決コース：DX推進人材＝企画検討者(DX施策を実行できるように、企画立案をおこなう人)

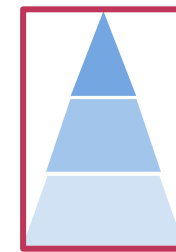
対象	研修名	概要	実施形態	学習時間	対象人数
DX推進人材	自治体DX推進のためのDX・データ活用企画研修	データ活用の企画フェーズにおいて、解くべき課題を掴むための準備と対策、課題設定・ゴール設定、データ活用シナリオ作成、データ活用価値について、 スマートシティ を題材に各種フレームワークを利用しながら学びます。	遠隔ライブ	半日×3回	20名
一般職員	DX推進のためのマインド・スタンス	すべてのビジネスパーソンに求められるDX時代のマインド・スタンスについて理解します。また、日常の業務においてどのように考え、取り組むべきかについても、グループワーク*を通して具体的なイメージを持っていただきます。*遠隔ライブのみ	遠隔ライブ または eラーニング	半日間 2時間	40名 (20名×2回) 200名

■政策企画コース：DX推進人材＝組織牽引者(DX推進リーダーとして、組織を牽引していく人)

対象	研修名	概要	実施形態	学習時間	対象人数
DX推進人材	自治体DX推進リーダー研修	自治体DXを推進するリーダー育成を目的に、DX マインドを養い、デザイン思考によるアイデアの企画発想力を高め、DX推進のプロセスを体得する演習やワークショップなどの様々な学習プロセスを通してDX 推進スキルを身につけます。	遠隔ライブ	2日間	20名
一般職員	DX推進のためのマインド・スタンス	すべてのビジネスパーソンに求められるDX時代のマインド・スタンスについて理解します。また、日常の業務においてどのように考え、取り組むべきかについても、グループワーク*を通して具体的なイメージを持っていただきます。*遠隔ライブのみ	遠隔ライブ または eラーニング	半日間 2時間	40名 (20名×2回) 200名

まるっと3階層プラン1

ご提供価格: 500万円(税抜き)/コース

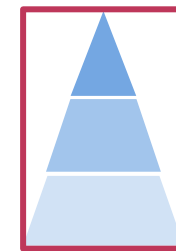


■課題解決コース：DX推進人材＝企画検討者(DX施策を実行できるように、企画立案をおこなう人)

対象	研修名	概要	実施形態	学習時間	対象人数
自治体幹部	DX推進のための自治体幹部向けワークショップ	DXで目指すべき方向性の統一化、どのような方向性を目指すのか、世の中の動向や事例、DXの考え方をインプットにワークショップ形式で検討します。	集合研修	半日間	20名
DX推進人材	自治体DX推進のためのDX・データ活用企画研修	<u>幹部向けワークショップで検討したテーマ</u>を基に、データ活用の企画フェーズにおいて、解くべき課題を掴むための準備と対策、課題設定・ゴール設定、データ活用シナリオ作成、データ活用価値を検討するワークショップをおこないます。	遠隔ライブ	半日×3回	20名
一般職員	DX推進のためのマインド・スタンス	すべてのビジネスパーソンに求められるDX時代のマインド・スタンスについて理解します。また、日常の業務においてどのように考え、取り組むべきかについても、グループワーク*を通して具体的なイメージを持っていただきます。*遠隔ライブのみ	遠隔ライブ + eラーニング	半日間 2時間	40名 (20名×2回) 200名

まるっと3階層プラン2

ご提供価格: 500万円(税抜き)/コース



■政策企画コース：DX推進人材＝組織牽引者(DX推進リーダーとして、組織を牽引していく人)

対象	研修名	概要	実施形態	学習時間	対象人数
自治体幹部	DX推進のための自治体幹部向けワークショップ	DXで目指すべき方向性の統一化、どのような方向性を目指すのか、世の中の動向や事例、DXの考え方をインプットにワークショップ形式で検討します。	集合研修	半日間	20名
DX推進人材	自治体DX推進リーダー研修	自治体DXを推進するリーダー育成を目的に、DX マインドを養い、デザイン思考によるアイディアの企画発想力を高め、DX 推進のプロセスを体得する演習やワークショップなどの様々な学習プロセスを通してDX 推進スキルを身につけます。	集合研修	2日間	20名
一般職員	DX推進のためのマインド・スタンス	すべてのビジネスパーソンに求められるDX時代のマインド・スタンスについて理解します。また、日常の業務においてどのように考え、取り組むべきかについても、グループワーク*を通して具体的なイメージを持っていただきます。*遠隔ライブのみ	遠隔ライブ + eラーニング	半日間 2時間	40名 (20名×2回) 200名

対象コースと価格一覧

対象	研修名	実施形態と期間	まずはここからプラン	推進者応援プラン		まるっと3階層プラン	
				課題解決コース	政策企画コース	課題解決コース	政策企画コース
自治体幹部	DX推進のための自治体幹部向けWS	集合研修 半日				●	●
DX推進人材	自治体DX推進のためのDX・データ活用企画研修	遠隔ライブ 半日 × 3回		●		●	
DX推進人材	自治体DX推進リーダー研修	集合研修 2日			●		●
一般職員	DX推進のためのマインド・スタンス	遠隔ライブ 半日 または eラーニング 2h	●	●	●	●*	●*
ご提供価格(税抜き)			100万円	300万円	300万円	500万円	500万円

*「まるっと3階層プラン」の一般職員向け研修は、遠隔ライブとeラーニングの両方をご提供します。

なぜ、NECか？

NECの可能性: お客様のDX実現に向けたNEC伴走

NECのデジタル知見を活用し、新たな事業モデル・業務モデル変革、顧客体験の創造、事業・業務・組織のアジャイル変革、実装、実践、継続的な成長に貢献します

DX推進へのNEC支援

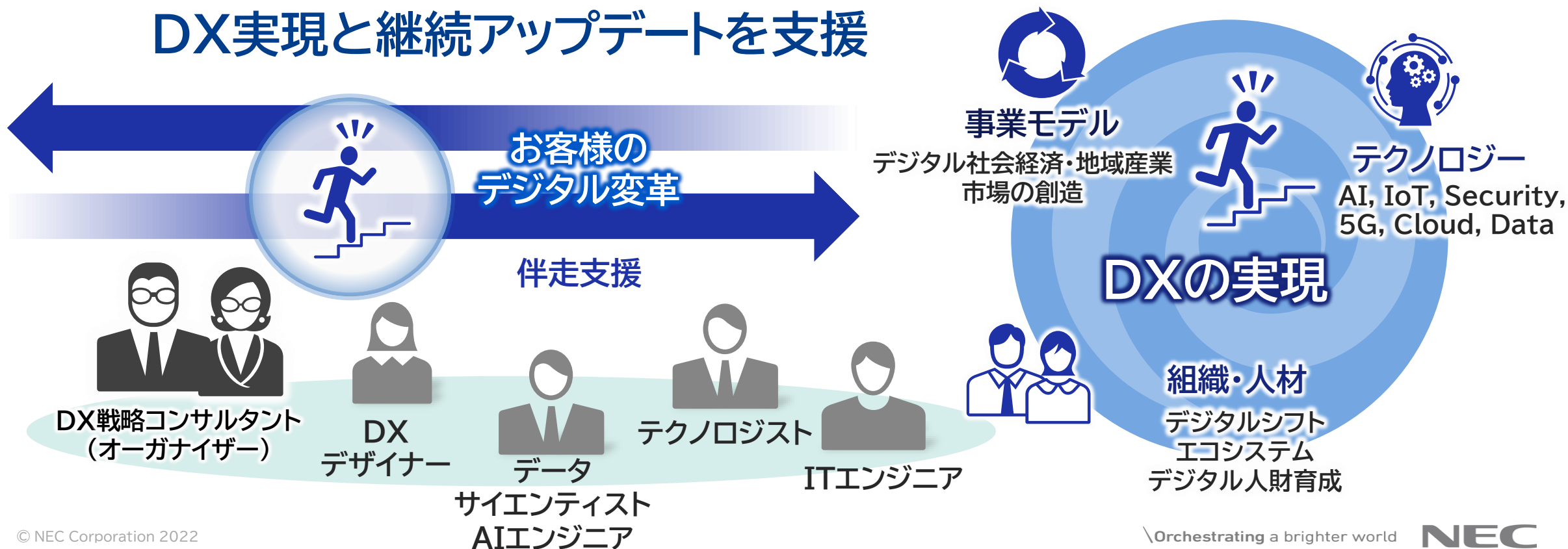
初期仮説・検討

実装

実践

アップデート

DX実現と継続アップデートを支援



農業・健康福祉・防災・観光・まちづくり等の分野でのNECの実績

AI(分析～予測)、IoTなど技術に裏付けされた様々な分野におけるDX実践知があります。導出された課題に対し、実績をもとに実現性ある課題解決策に導き、自治体DX推進に貢献が可能です。



AIによる工場生産ラインの異常予兆検知
(サントリービール様)



データ分析による農業収量安定化・ノウハウ蓄積
(オリックス様)



映像/センサ活用による冠水検知・水害予防
(杉並区様)



AI/IoTによる健診結果分析と健康コントロール
(岡山市様、広島県様)



スマート街路灯による安全安心な地域づくり
(六本木商店街振興組合様)



スマホアプリによるVIP対応と来訪者回遊促進
(宇都宮市様)

事例:加古川市 地域共創

地域共創により「スマートシティに向けて推進できる」、「持続可能なまちづくりを推進できる」自治体をめざして、加古川市民の目線で考え、住民の暮らしをより良くできる、社会実装のビジョンとロードマップを策定。

NEC×加古川市 地域共創



- デザイン思考による事業構想の実証実験
- プロボノによる地域課題の解決支援
- LCPF Mendixを用いたデジタル解決にも挑戦
- NEC未来創造会議による多世代交流のワークショップ
- 行政DXコンサルティング
- Code for Japan 連携によるDecidim推進 など



2021年11月9日「加古川市とNEC、地域共創に関する包括連携協定を締結」



ご提案事例：地方自治体様

DXによる課題解決企画立案に向け、上位層から順に職位別プログラムで連携

◆ 上位層で検討したDX促進の方向性、施策テーマに基づき、具体的な解決策を立案



問い合わせ先

◆ NECアカデミー for DX全般

- DXオフリング・プラットフォーム戦略本部
- E-Mail: dx_offering@dbo.jp.nec.com
- URL: <https://jpn.nec.com/dx/nec-academy/>

◆ 自治体向けプログラムに関するお問い合わせ

- E-Mail: nec-academy-contact@aji.jp.nec.com
- メールタイトル: 自治体向けDX人材育成に関する問い合わせ
- 担当: 山崎、正時



DX推進役となる人材育成



その答えは”学び”と”実践”の場

DX人材育成をワンストップで提供

NECアカデミー for DX

🌐 <https://jpn.nec.com/dx/nec-academy/>



NECのデータ活用人材を育んだ

NECアカデミー for AI

🌐 <https://jpn.nec.com/nec-academy/>



\Orchestrating a brighter world

NEC